

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

校訓「英知・至誠」に基づき、新しい時代を担う英知と、豊かな人間性・創造性・社会性を身につけた人材を育成し、地域に愛される学校

- 教育方針
- 1. 将来を支える学習指導の充実
 - 2. 魅力ある学校生活の創造
 - 3. 将来を支えるきめ細やかな生徒指導
 - 4. 人権感覚豊かな人格の育成

2 中期的目標

- 1 授業改善と授業力向上に取組み、「確かな学力」を身につけ、夢を実現する力を育成する教育活動
 - (1) 組織的に授業力向上と改善に取組み「主体的、対話的で深い学び」の授業を実践し、生徒の学力を向上させる。
 - ア 「学び合い、学び続ける生徒の育成」のため、全教員で「主体的、対話的で深い学び」の授業を行う
 - イ 授業満足度の向上と、わかりやすい授業のため、全教員で ICT を活用した授業を行う
生徒「進路実現のための学力向上満足度」を向上させる [H30:56.7% R01:53.9% R02:60.2% 令和5年度:65%]
 - (2) 3か年を見通した進路指導計画、生き方に関する学習機会を提供し、主体的かつ積極的に社会に参加する力を育成し、満足度の高い進路を実現する。
生徒、保護者「進路指導に関する項目の満足度」を向上させる
[H30:71.8%、68.7% R01:80.3%、73.2% R02:78.4%、75.3% 令和5年度:85%、80%]
就職内定率 [100% 維持]
 - (3) 講習・補習・外部模試の計画的な実施と、体系的なキャリア教育の推進により、大学進学希望者の目標・夢を実現させる。
国公立・関関同立産近甲龍摂神追桃外 合格者数の増加する [H29:35人 H30:10人 R01:24人 R02:14人 令和5年度:30人]
 - (4) 英語教育の充実を図るとともに、様々な検定試験を実施し、生徒のコミュニケーション能力と進路意識の向上に取組む。
 - ア 講習、資格試験、外部行事への参加などにより、英語教育を充実させる
 - イ 英検、漢検、数検など様々な資格試験を1年次より実施し、進路意識と自己肯定感の向上に取組む。
英検等の受験者数(希望者)を増加させる [英検 R01:119人 R02:101人 令和5年度:英検140人]
- 2 自律心を高める生徒指導と地域と連携した教育活動と魅力ある特別活動に取組み、地域・保護者に信頼される学校づくり
 - (1) 自律を促す指導を粘り強く行い、生徒の規範意識を醸成するとともに、教育相談体制や生徒支援体制の満足度を向上させる。
生徒「学校の規則を、きっちり守っている」を維持する [H30:86.6% R01:89.6% R02:85.5% 令和5年度:維持]
生徒「教育相談に関する満足度」を向上させる [H30:66% R01:71.4% R02:68.7% 令和5年度:75%]
 - (2) 生徒の自己有用感の醸成し、帰属意識を高め、安心できる人間関係の構築するため特別活動(行事、部活動等)を充実させ、学校満足度を向上する。
生徒「学校行事に積極的に参加している」を維持、向上させる [H30:78% R01:82.7% R02:79.8% 令和5年度:85%]
 - (3) 保護者及び地域との連携した活動を推進するとともに、学校ホームページや文書・新聞等の文書媒体により学校の情報発信を行う。
保護者「子どもは楽しそうに学校生活を送っている」を維持する [H30:82.3% R01:81.5% R02:82% 令和5年度:85%]
生徒「地域との連携の取組みを推進する生徒の参加取組」を定着させる [新規 R02:中学訪問14回] [令和5年度:10回以上]
- 3 人権尊重の教育を推進するとともに、「ともに学びともに育つ」教育の実践により、すべての生徒に安全・安心な教育環境の構築
 - (1) 共生推進教室を組織的な校内体制で推進するとともに、障がいのある生徒の自立を支援する。
 - ア 共生推進教室での充実した自立活動の取組みと職場実習の実施により、生徒全員の進路実現
 - イ 障がい者理解教育研修を推進し、すべての教職員が共生推進教室の取組みに関わる
進路実現[100% 維持] 教員研修の実施 [新規 R02:1回 年2回]
 - (2) 教職員の人権教育等の研修を定期的実施するとともに、生徒への人権教育を推進する。
教職員年3回の人権研修肯定率 [新規 R02:1回66% 令和5年度:3回、70%]
生徒「人権等の学習機会がある」を向上させる [H30:67.8% R01:74.7% R02:74.3% 令和5年度:80%]
- 4 地域との連携を強め、生徒主体の学校運営を推進し学校力の向上
 - (1) 学校経営計画推進に向け各組織のリーダーのマネジメント能力の向上、学校経営に教職員が参画する PDCA サイクルを推進する。
教職員「学校運営に教職員の意見が反映されている」を向上させる [H30:34.4% R01:41.0% R02:55.6% 令和5年度 60%]
 - (2) 教職員研修の充実を図り教員の指導力を向上させる。
教職員「教科指導や人権研修などの校内研修は、役立っている」を向上させる [H30:43.8% R01:50.8% R02:63% 令和5年度 70%]
 - (3) 学校の広報と情報発信を充実する。
保護者「学校からの連絡文書は届いている」、「HPを見て情報を得ている」を向上させる
[H30:74.5%、46.3% R01:73.8%、44.7% R02:73.5%、59.6% 令和5年度 80%、55%]

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 学力・夢を実現する教育活動	(1) 観点別評価授業と ICT 機器を活用した授業の推進 (2) 探究的な教育活動と体系的なキャリア教育の推進 (3) 普通科専門コースの授業内容や講習等を充実させ、進路実現の満足度の向上 (4) 英検や様々な教育活動により、進路意識の向上	ア 観点別学習評価推進委員会、ICT 活用研究委員会(仮)を中心に研究授業を実施し、相互授業見学などにより授業改善に取り組む。 イ LHR、「総合的な探求の時間」等において進路や生き方について考える探究的な学習活動を行い、早期に、生徒の確かな進路目標決定と意識醸成に取り組む。 ウ 専門コース及び総合系も含め授業内容を充実させる。 エ 進路指導部を中心に講習・補習・模試の計画を立案、実施する。 オ スピーチコンテスト、英検受験を推奨し英語教育の推進を図る。(人文・英語発展専門コースは全員受験)	ア 相互授業見学や ICT 活用等の研究授業を実施し、生徒「授業アンケート生徒肯定意識」を 3.2 以上。[3.2] イ 進路や生き方の考える機会の満足度 80%以上を維持する。[78.4%] ウ 選択科目の項目の肯定率 80%以上にする。[75%] エ 検定対策講座や進学講習等の学習を提供する。希望者対象の外部模試の受験者を前年度より増とする。[220 人] オ 英検受験者数を前年度より増とする。[101 人]	
2 保護者・地域から信頼される学校づくり	(1) 生徒の規範意識を高め、学校生活に主体的に取り組む姿勢を醸成 (2) 支援体制、教育相談体制の充実 (3) 地域と連携した特別活動等を通じた生徒の自己有用感の醸成と、集団への帰属意識の向上 (4) 生徒の活躍の場をつくり、保護者及び地域との連携	ア 教員全員による生徒指導体制を推進するとともに、薬物乱用防止や SNS 利用等の生徒指導講演会を実施する。 イ 登校時のあいさつ指導、遅刻防止指導、制服指導、自転車マナー指導及び雨天時レインコート使用を継続する。 ウ 要支援生徒について支援教育コーディネーター、教育相談委員会、担任、SC、SSW による連携した支援を行う。教育相談通信など取組みを行う。 エ 担当の分掌、顧問による働きかけによる地域と連携した生徒会活動、部活動等の活動を推進する。 オ 保護者、地域への情報発信を充実する。 ・学校広報に生徒の活躍の場を設ける。 ・生徒の地域の事業等への参加、保育・小・中との交流を行う。	ア 生徒が学校の指導規則を守る項目の高い肯定率を維持する。[85.5%] イ ・登校時遅刻を前年度より 15%減少させる。[1,491 件] ・定期的な登校指導を実施回数。[3 回] ウ 生徒の教育相談に関する項目における満足度を 75%以上にする。[68.7%] エ ・クラス活動や学校行事参加へ積極的に参加する肯定率を 85%にする。[79.8%] ・部活動加入率 60%以上。[59.6%] オ ・保護者の学校の相談満足度を 73%以上にする。[72.2%] ・学校説明会参加中学生 600 人以上を維持する。 ・説明会、地域交流への生徒の参加回数 10 回以上する。[中学訪問のみ]	
3 「学びとともに育つ」教育の実践	(1) 共生推進教室生徒の自立支援 (2) 地域と連携した教育活動の推進	ア ・個別の教育支援計画に基づいた自立を支援する教育を全教員で推進する。 ・卒業後の進路実現に向けた職場実習等のキャリアガイダンスの充実、教職員対象の UD、障がい者理解教育を促進する。 イ 教職員の人権研修と生徒の人権教育を推進する。	ア ・共生推進教室 3 年生の進路実現 100%。 ・むらの高等支援学校と生徒交流の実施と教員の相互交流研修の実施参加人数 10 人以上。[7 人] ・入学生を募集定員以上にする。 イ ・人権教育への取組み回数と満足度。 ・教職員対象の研修を 3 回実施する。 ・生徒の人権に関する肯定率 75%以上を維持する。[74.3%]	
4 学校力の向上	(1) 各組織のリーダーのマネジメント能力の向上 (2) 教師力の向上 (3) 生徒主体の学校活動の推進と情報発信の充実	ア 各組織のリーダーにおける学校経営計画推進に向けた PDCA サイクルによる取組みを推進する。 イ ・充実した教職員研修(教育相談、人権研修、支援教育等)を実施する。 ・個人情報の適正な管理を徹底する。 ・管理職等による声かけなどにより、時間外勤務者の削減に取り組む。 ウ 生徒主体の活動を活性化し、学校通信等やホームページ・ブログ等における広報を充実する。	ア 学校教育自己診断における教職員の教育活動の評価と次年度への計画に関する肯定を 60%以上にする。[55.6%] イ ・校内研修(支援教育、人権等)充実や外部の研修を通じて教員力の向上を図り、教員の研修の肯定率の向上を 70%以上にする。[63%] ・80 時間/月以上の超過勤務者を 20%減少させる。[25 件] ウ ホームページ、ブログを積極的に更新し、学校通信等の発行により、保護者の学校情報における項目の肯定率を 65%以上にする。[59.6%]	